

私の読書体験「本を読むことのおもしろさ」より 本を読むことのおもしろさを感じ取り、 「はがき新聞」を書いて本の紹介をしよう

教材：「本を読むことのおもしろさ」（「現代の国語2」三省堂）

作家の「小川洋子」さんが「本との出会い」について書いた教材文を読む。

紹介されているのは「アンネの日記」である。

著者が小説家を志すきっかけにもなった「アンネの日記」の紹介とともに、
読書の持つ力、影響力などについて、生徒に考えさせる。

その後で自分たちも学校図書館を利用して本を読み、
「はがき新聞」の形で本の紹介をして読書に興味を持たせたい。



指導のねらい

・「知識及び技能」

読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つと理解できる。

・「言語活動」

学校図書館などを利用して、多様な情報を得て考えたことなどを、「はがき新聞」に書いて報告する。



評価の例

本を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを広げ確かなものにする。

A・・・「はがき新聞」に本のあらすじをしっかりと書いていて、読んだ人が内容をよく理解できる。

B・・・本の内容をよく理解して、自分の考えを広げることができる。

※「主体的に学習に取り組む態度」

「はがき新聞」を人が読みやすいように、工夫して文章やイラストなどを書いている。



時間配分 (目安)

◆前時までの取り組み

- ・教科書の教材を学ぶ
- ・学校図書館で本を選び、読んでおく
・・・・・・・・ 60分

◆本時の内容

- ① 導入（課題の説明） ・・・・・・・・ 5分
 - ② はがき新聞の作り方の説明 ・・ 5分
 - ③ はがき新聞の制作 ・・・・・・・・ 30分
 - ④ 振り返り・交流 ・・・・・・・・ 10分
- グループ、クラスで出来上がった「はがき新聞」をお互いに読み合い本を紹介したり感想を述べていく。

学びを広げるポイント

- 日頃の読書活動を振り返り、読書の効用について理解し、読書を通じて自分の考えを確かなものにしていくことが大切である。
- スピーチだけより「はがき新聞」を掲示することにより、長い時間本の紹介を読めるので生徒が他の作品に興味を持ちやすい。
- 学校図書館を利用することで、読書のきっかけを与えるようにする。


教材の対象 ▶ 中学2年生 国語〈生徒向け〉

私の読書体験「本を読むことのおもしろさ」より

本を読むことのおもしろさを感じ取り、「はがき新聞」を書いて本の紹介をしよう

本のあらすじ を書いていく。	見出し	<h1>新聞名</h1>
作成者		
印象に残った 言葉などを書 いてもよい。		
必ず自分の感 想を書くよう に。内容に関 するイラスト を描いてもよ い。		

レイアウトの例

<h2>告白予行練習</h2> <p>あらすじ</p> <p>幼なじみの瀬戸内優 は夏休み前の放課後、 榎本夏樹は、 「いきなりでごめんね。 す」と前かがり好きでし た。</p> <p>と告白をするのですが 自分の気持ちに素直に なれず、「予行練習」と 嘘ついてしまいます。 それからというものの、 本当の気持ち伝えるこ とができません。同じ</p>	<p>クラスの綾瀬恋雪 が夏樹に急接近す るようになり、幼 なじみでもあり片思い 輝と夏樹が告白する (本日は練習)など、 夏樹と優の関係は次第 にぎくしゃくしていき ます。果たして、夏樹 は優にちゃんと本当の 告白ができるのでし うか。</p>	
<h3>感想</h3> <p>夏樹の嘘が毎回悲し くなります。 元見なく、「練習だけ と言っている夏樹も悲</p>	<p>しくなりました。 優の心ちがいても、つ らそうに見えてかわい そうに思いました。 でも、最後のとても よかったです。</p>	
<p>告白予行練習 ハニートークス</p>		<p>ハニートークス</p>

A5判 6-T-1 公益財団法人 理想教育財団

レイアウトの例

私の読書体験「本を読むことのおもしろさ」より 本を読むことのおもしろさを感じ取り、 「はがき新聞」を書いて本の紹介をしよう

作家の「小川洋子」さんが「本との出会い」について書いた教材文を読みましょう。また著者が作家を志すきっかけにもなった「アンネの日記」についても調べ、読書の持つ影響力やすばらしさについて考えましょう。その後で自分たちも学校図書館を利用して本を読み、「はがき新聞」の形でお気に入りの本の紹介をしましょう。



教材：「本を読むことのおもしろさ」（「現代の国語2」三省堂）

準備するもの

鉛筆（下書き用）、消しゴム、ボールペン（黒色）、ペン（黒色）、色鉛筆、水性ペン、定規など

はがき新聞の作り方

- 1 レイアウトの例を参考にして、新聞の大まかなレイアウトを決めましょう。
.....
- 2 枠に定規などを使って線を引いていきましょう。
.....
- 3 タイトル（本の名前）を書き、発行者の欄に名前を書きましょう。
（名前は横書きです）
.....
- 4 自分が紹介する本のテーマを考えて「見出し」を書きましょう。
.....
- 5 「見出し」は最後に書いても構いませんが最初に見出しのスペースを取りましょう。
.....
- 6 本のあらすじを書いていきましょう。
.....
- 7 必ず、本を読んだ自分の感想を書きましょう。
.....
- 8 最後まで書くことが望ましいですが、余白が残った場合、絵を描いてもかまいません。
.....
- 9 文章や絵が書けたら、枠などに色を塗って完成させます。
.....

→次のページに続きます。


教材の対象 ▶ 中学2年生 国語〈生徒向け〉

私の読書体験「本を読むことのおもしろさ」より

本を読むことのおもしろさを感じ取り、「はがき新聞」を書いて本の紹介をしよう

<p>見出し</p>	<h1>新聞名</h1>	
<p>本のあらすじ を書いていく。</p>		作成者
<p>印象に残った 言葉などを書 いてもよい。</p>		
	<p>必ず自分の感 想を書くよう に。内容に関 するイラスト を描いてもよ い。</p>	

レイアウトの例

<h2>告白予行練習</h2>	<h3>あらすじ</h3>	
<p>幼なじみの瀬戸内優 に夏休み前の放課後、 榎本夏樹は、 「いきなりでごめんね。 すっ」と前かがり好きでし た。</p>	<p>と告白をするのですが 自分の気持ちに素直に なれず、「予行練習」と 嘘ついてしまいます。 それからというものの、 本気の気持ち伝える ことができません。同じ</p>	
<p>クラスの綾瀬花雪 が夏樹に急接近す るようになり、幼 なじみでもあり片思い 輝と夏樹が告白する (本日は練習)など、 夏樹と優の関係は次第 にぎくしゃくしていき ます。果たして、夏樹 は優にちゃんと本気の 告白ができるのでし うか。</p>	<h3>感想</h3> <p>夏樹の嘘が毎回悲し くなります。 元気がなく、「練習だろ 」と言っている夏樹も悲</p>	
<p>告白予行練習 ハニートークス</p>		<p>しくなりました。 優のかんちがいも、つ らそうに見えてかわい そうに思いました。 でも、最後がとてま よかったです。</p>

レイアウトの例

題字の新聞名は「本の題名」でもよい。

学びを広げるポイント

書けたはがき新聞は、グループやクラスでお互いに見て共有します。
掲示しますので、ゆっくり読んで、気になった作品があれば、学校図書館で読
んでみましょう。